



2020-2021 年度  
3月号  
NO. 378

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

**BF**  
**ワイズメネット**

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題：「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ソコポール) 主題：「変化をもたらそう」  
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題：「変化をたのしもう！」  
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題：「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」  
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題：「持続可能な未来を創ろう」

## 3月例会(ZOOM)

と き 2021年3月11日(木)  
18:30~20:30  
※ZOOMによる例会

### ★プログラム

開会挨拶 会長 須田哲史  
メンバースピーチ  
「セノタフマップ制作の思い出話」  
編集者：野澤一弘さん野本多美子さん  
おめでとう誕生日  
各種報告  
閉会

## 強調月間 (BF/ワイズメネット)

国際・交流事業主任 米永晴信

「無から有を生み出す」というワイズの先人の知恵で、古切手を集めて売却し、国際役員の公式日程の旅費を捻出していくことに端を発した活動です。古切手収集以外に献金で納める傾向が強くなり、切手が全体の15%、献金が85%を締めているとの事です。現在使用目的は、将来ワイズのリーダーとして活躍が期待されるメンバーを国際交流の場に送り出す費用としても使われています。我こそはリーダーを目指す、というメンバーの方は国際協会のHPから応募できますので是非!BF という略語は一般通念上はボーイフレンド、ベビーフード、繰越金(brought forward)などで、「ブラザーフード基金」という言葉を覚えておかないとBF というのが何であるか英語を母国語にする人にすら説明する事はできません。強化月間を機に、使用済みの切手をみんなで集めて国際的に活躍するBrotherhood に協力するという本来の意味を改めて考えてみてはいかがでしょうか。

ワイズメネット委員長 澁谷実季

春の香りが漂い始めてきた今月は、ワイズメネットの強調月間です。是非ワイズメネットについて関心を寄せていただきたいと思います。コロナ禍にある私たちは、生活に、活動に様々な制限がかかり堅苦しさの中からも、ともに助け合うためワイズメン・ワイズメネットが協力し、知恵を持ち寄り工夫して働きをなさったクラブも多いかと思います。ワイズメネット委員会ではYMCA施設への絵本贈呈事業、東日本大震災復興支援及び、国際プロジェクトへの献金を行っています。今期も多くのクラブから献金を賜りありがとうございました。

(理事通信3月号より)

### ★今月の誕生日

及川大樹さん(18日)  
須田哲史さん(1日)  
斎藤蓉子メネット(6日)



### ✚ 今月の聖句 ✚

『聖書はすべて神の霊の導きに下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。』

—テモテへの手紙Ⅱ 3章 16節—

## 2月例会

出席者 12名 ゲスト 2名  
会員出席数 10名  
在籍数 15名  
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 %

## スマイル

11月 8,000円

累計 35,000円

## 2020-2021 年度役員

会長 須田哲史  
副会長 高野真治  
書記 金丸満雄  
会計 千代一郎  
担当主事 沖 利柯

## 2月例会 (zoom)

野澤一弘

緊急事態宣言が延長となり解除日が3月7日となりました。1月より引き続いてのズーム例会となりました。スイッチを入れテレビ画面を見ますと、須田会長は海岸の波打ち際にいて波が打ち寄せています。そこからひがしメンバーに本日の例会参加の声掛けをしています。どこの海岸かと思いつかり騙されました(PCの背景)。そうこうするうちに、今日の参加者11名の見目麗しき？顔がそろい、今日の講師光永さん(同盟主事)によるピンクシャツデーのお話をお聞きいたしました。40分ほどパワーポイントによる説明を聞きました。今月はタイムオブファーストですので、各自食べ物には手を付けず画面に顔を向けております。そのうち、司会者が各人に近況の問いかけが始まりました。私の名前を呼ばれビックとし、場なれしていない自分がとうとうと述べるには原稿用紙一枚位書き上げ、それを読まねば引け目を感じるとの実感でした。早く外出自粛が解かれないものです。



※ピンクシャツデーにちなんで、それぞれピンク色のものを身に着けて光永氏の話をお聞きしました。話の最後に熊本震災後の復興状況を聞き、熊本での再会が楽しみです。

\*\*\*\*\*

### ★コロナ禍のCS・Yサ事業活動★

約一年間に及びワイズ活動中止の中、ひがしクラブYサ事業として、花壇作り・フェンスのペンキ塗り・ミニ農園作り・フードパントリー仕分け作業など、東陽町センターのサポートを行いました。ミニ農園で栽培し収穫された野菜は、こどもダイニングに使われます。



## YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

### ▼ピンクシャツデー

2月24日(水)のピンクシャツデーを前に、2月21日(日)にオンラインで、東陽町コミュニティーセンターと東雲コミュニティーセンターのユースボランティアリーダー10名とスタッフで、いじめについて考え考える勉強会を実施しました。いじめはなくなりたいかもしれないけれど、減らすためには「違いを認める」「相手の立場に立って考える」「見て見ぬふりをしない」などの意見が出されました。この日だけの取り組みではなく、普段からいじめを減らすような取り組みを行っていききたい。

### ▼ソシアス2020(会員協議会)

2月11日(木)にソシアス2020をオンラインで開催し、会員・職員合わせて57名が参加しました。「今、私たちにできること」をテーマにグループディスカッションを行い、YMCAの魅力や社会に広め、地域の人たちにYMCAに関わってもらうために何が出来るか等について、意見交換をしました。

### ▼第21回日本YMCA大会

2月23日(火)に第21回日本YMCA大会がオンラインで開催され、全国YMCAから会員、職員、ボランティアリーダー、学生YMCAメンバーなど、約250名が参加。東京YMCAからも35名が参加しました。第一部では関田寛雄氏(日本基督教団神奈川教区巡回牧師)による基調講演の他、注目されるいくつかのYMCAの活動事例やユースの声を紹介されました。また東日本大震災10周年を覚え、支援活動に携わったボランティアやスタッフから話を聞きました。続く第二部ではグループに分かれて対話の時を持ちました。

### ▼第3回フードパントリー

江東区内のひとり親家庭を対象に行っているフードパントリーが2月27日に開催されました。今回は定員30家族を上回るお申し込みがあり、ニーズの高さがうかがえました。コロナ禍で職を失ったり、減ってしまったお母さん方からの生の声もお聞かせいただき、この活動の意義を深く感じました。たくさんの企業、団体、個人の方からのご寄付をいただいたことに心より感謝申し上げます。また仕分け作業をお手伝いいただいた飯田さん、金丸さん、野本さん、有難うございました。



### ▼今後の主な行事日程

- ・「東日本大震災10周年礼拝」3月6日  
説教：飯岡洋介氏(成増キリスト教会牧師)
- ・東日本大震災10周年「福島パネル展」  
3月1日～6日 於：東陽町センター